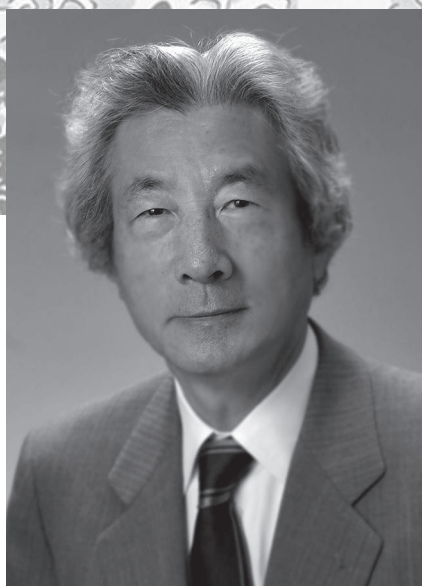


小泉純一郎氏講演会—日本の歩むべき道

「日本人としての思い」

フクシマがすべての原点

3.11東日本大震災における救援活動「トモダチ作戦」に従事していた米軍兵士たちが、原発事故によって被曝した。米兵のおかれた過酷な現状を知り、支援活動に立ち上がった小泉氏の、一人の日本人としての発言は、私たち一人ひとりに投げかけられた課題でもある。フクシマで、生きる手立てと場所を奪われた被災者と米兵たちに思いを致し、過去を乗り越え、次の世代のために、私たちが為すべきことを共に考える。



2016年11月8日(火)

開場／18:00 講演／18:30～20:15

入場／無料

※当日17:30より会場受付にて整理券を配布します

※定員(250名)に達した場合、入場をお断りする場合があります

※会場内でカンパにご協力ください

【会場】

ひと・まち交流館 京都 大会議室

主催：NPO 法人 市民環境研究所

後援：城南総合研究所

【問合せ】 NPO 法人 市民環境研究所

京都市左京区田中里の前 21 石川ビル 305

075-711-4832 / [e-mail] pie@zpost.plala.or.jp



空母ロナルド・レーガン甲板での除染作業 (NavyTimes より)



サンディエゴで兵士たちと面会した小泉氏

トモダチ作戦

2011年3月11日の東日本大震災時のアメリカ軍の救援活動は、「トモダチ作戦」として、私たちの記憶に残っている。しかし、その際、放射能の排出を知らされないまま出動した兵士たちが、高濃度の放射能プルーム（雲）の直撃による外部被曝と、汚染した海水を淡水化して使用する飲食等による体内被曝の結果、重度の被曝症状を発症していることは、あまり知られていない。

その結果2016年9月現在7名が命を落とし、深刻な健康被害を受けた元兵士は数百名にもものぼっていると言われているが、保険の適用がないため、十分な治療を受けられないまま、現在も苦しい生活を強いられている。

トモダチ作戦被害者支援基金

この深刻な状況を知った小泉氏は、米国に渡って兵士たちに面会して救援活動への謝意を伝えるとともに、兵士らに対する日本国民の「恩義」としての支援基金を設立し、全国各地で募金活動を行っている。

■発起人：小泉純一郎（元内閣総理大臣）・細川護熙（元内閣総理大臣）・大野剛義（元さくら総合研究所社長）・吉原毅（城南信用金庫相談役）

■振込先：城南信用金庫 営業部本店 普通預金 844688
トモダチサクセンヒガイシャシエンキキン

※詳しくは城南信用金庫 HP (<http://www.jsbank.co.jp/>)

元総理の義侠心

小泉氏は政界を引退したあと、第一線から完全に身をひいておられた。しかし、「3.11」以降、原発に関して率直に「反原発」の発言を繰り返されていることに対しては、我々もおおいに注目していた。

そんななか、今年度の総会講演会に来ていただいた日系4世のフリーランス・ジャーナリスト、エイミー・ツジモト氏から「トモダチ作戦被害者支援基金」設立の経緯を聞き、彼女を通して小泉氏に講演をお願いしたところ、快くお引き受けいただいた。しかも、東北の被災者への救援活動で被曝した米軍兵士たちのために、手弁当で京都まで駆けつけてくださるのだ。その情熱と活動力には心を打たれる。フクシマの被災者はもちろん、被曝した米国兵士のことも、日本人として決して忘れてはならないという小泉氏の訴えに、素直に耳を傾けたいと思う。

NPO 法人 市民環境研究所

ひと・まち交流館 京都

■バス

市バス 4, 17, 205 号系統「河原町正面」下車

■電車

京阪電車「清水五条」下車 徒歩 8 分

地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩 10 分

※駐車場は台数に限りがありますので、可能な限り公共交通機関でお越しください。

〒600-8127

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1（河原町五条下る東側）

TEL：075-354-8711

